

文学に対するモヤモヤ。この質の低さ、このレベルの低さ、なんでこんなもので満足して喜んで書いたり読んでたりするんだらうというモヤモヤ。

それから、まがりなりにも芸術家ともあるうものが、権力とか権威とかに自分から進んで擦り寄って行くという、この致命的な欠陥。これは、文学者でもなんでもないだらう、と。それから、派閥。俺がデビューした頃は歴然とあったんです。船橋学校とか、丹羽学校とか。

丸 ええ、聞いたことがあります。丸 ええ、それはひどいこととしてたんです。どうしてわかったかという、編集者は俺の前だと安心するの、全部本音を言うんです。俺がまだガキでこの派閥にも属してないと思って。だから俺の耳に全部入ってくるんです。俺は聞いてないふりして、聞いていたわけ。向こうは、こんなガキに何を言ってもわか

んねえんらうなと思っただらうけど、こっちはすれっからしの商社の、しかも通信部にいた。通信部ってのは暗号の解読から何から情報を全部握っているところ。これはもう、おかしいなこの世界は、と思っただ。

ある時、編集者に言ったんです。「ちょっとあんたらガキっぽくないか」と。普通の企業では有り得ないような仕事の仕方をしてる。つまり、学生の延長だよ。そう言ったら、「これがいんだよ、これが文学の出版のあり方だよ」と。当時は本当に景気がまだよかったですから、書けば右から左へと原稿が飛ぶように持っていて、本になる。売れる、儲かる、という時代だった。俺はその頃、絶

対にこのままじゃ将来ダメになるよと言ったけど、誰も耳を貸さなかった。それがまず一つのモヤモヤ。文学、文壇に対するモヤモヤ。こんないい加減なことをやっていいの、か、という。

それから出版界に対するモヤモヤ。出版界の人たちというの、一般の人が思っているほど文学に精通しているわけではない。文学に対して眼力を持っているわけでもない。ただ、大学を出て一流の大手出版社に入社しましたというだけなんです。実際、文学に対する見識とか、深みとか、洞察力とか、まったく欠落している

連中だということはずいぶんあった。それでも、一流編集者、名編集者と言われるのは、書き手たちが、自分の原稿を載せてもらいたい

程度大御所になっちゃった。そしたら、自分の存在価値がちょっとなくなっちゃった。文芸評論家としての。その時に俺が出てきたわけ。で、俺に目をつけて、接近を図ってきたけど、俺はバーンと拒否した。俺に見抜かれてるのを知らないんだ。向こうはガキなんてどうにでもなると思ってる。そしたら中上健次っていう人間が後から出て来て、それはまんまとはまっちゃった。江藤淳はあらゆるものを利用するのが得意で、文壇はまた中上健次を後継者として持ち上げたんです。

丸 江藤淳って知ってます？ 丸 ええ。彼は鎌倉で、僕は逗子出身ですから。丸 江藤淳っていうのは、佐藤栄作のゴマをすって、文芸評論家という立場を踏み台にして、それ以上になろうとした最初の文芸評論

『夏の流れ』で芥川賞をとったときに、強烈な違和感を持ったんです。

からゴマすってるんですよ。書き手がちやほやするもんで、完全な錯覚を起しているんです。

一種の既得権益なんだなと思う、文壇というのは。つまり、どうしようもない層が集まって自分らの利益を護るためにやっていて、それに對して違うものが入ってきたら排除する。その排除の対象が俺ですよ。

ペンクラブからも声がかからなかったし、日本文藝家協会からも声がかからなくて、みんな様子を見てたの。俺が友人受けしはじめたら、入れちゃおうということになって、日本文藝家協会からお誘いがあった。『あなたを推薦する理事のお名前』とかあって、「ぶざけんじゃねえ。こんなこと

をやるつもりなら、この世界に入らないんだ。俺は誰にも尻を蹴つ飛ばされなくとも生きていられりゃそれだけでいい。文学がどうであろうと知ったこっちゃない。そう言っちゃった。そしたらペンクラブは勝手に俺の名前を入れて、いつの間にか入ってるわけ。俺が文句を言ったら外しましたけど。

文壇に対する疑問

丸 江藤淳って知ってます？ 丸 ええ。彼は鎌倉で、僕は逗子出身ですから。

丸 江藤淳っていうのは、佐藤栄作のゴマをすって、文芸評論家という立場を踏み台にして、それ以上になろうとした最初の文芸評論

なりしゃべったんです。最後に「今日は俺がしゃべって行間は埋めたけど、全部削っていいから。あとで冷静に自分の言いたいことを書いてください」ということになっちゃった。そうするのかなと思ってる。送られてきた雑誌を見てみたら、俺が一方的にしゃべってる。編集者に電話をかけて、「俺があれほど言っただのに、なんでこうなったんだ。本人に言ったのかよ？」って訊いたら、「言っただんですけど、これでもいいって言うんですよ」って。

後日談があつて、対談後あいつらは宿に帰ったんです。あれ酒乱ですからね「今日はしゃべれなかったって、すごく荒れ狂っちゃったらしい。」

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？

丸 欲求不満ですか？